

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年4月8日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【プロセス主建屋およびサイトバンカ建屋周辺の地盤の沈下について】 当社社員が、パトロールにおいて、プロセス主建屋およびサイトバンカ建屋周辺に10~20cm程度の地盤沈下を確認。 当該の地盤沈下箇所は、立ち入り禁止の区画表示を実施。 原因は、3月16日に発生した地震による影響と推定。 なお、当該建屋内の設備等は問題なし。 今後、状況把握のため目視による確認に加え、地盤が沈下した箇所を内視鏡カメラにて調査し、改修方法を検討予定。</p>	GⅢ	3月22日
2	<p>【増設多核種除去設備(B)の吸着塔5Bのスクリーン破損について】 当社社員が、増設多核種除去設備(B)の吸着塔5Bの吸着材排出時、吸着塔内のスクリーン(※)に破損を確認。 原因は、経年劣化により破損したものと推定。 当該吸着塔5Bを隔離およびバイパス運転を行うことで、当該増設多核種除去設備(B)系の浄化処理が維持可能と判断。 今後、当該スクリーンの補修を行い、代替え対策品等の検討予定。</p> <p>※スクリーン：吸着塔に充填した吸着材が下流へ流出しないようにするフィルタ</p>	GⅢ	4月4日
3	<p>【廃炉・汚染水対策事業の交付申請書の誤記について】 国の廃炉事業に申請する書類に、当社の株を保有する各社の比率を記載する箇所があるが、その比率を誤って記載し提出したことを、他の申請書を作成する際に確認。 原因は、当該の申請において、参考にしたデータを転記した際、内容を確認しなかったもの。 なお、当該箇所については申請する内容に直接影響のあるものではなく、当該箇所の差し替えを実施済み。 今後、再発防止策を検討予定。</p>	GⅢ	3月30日